



あなたが考える

『一番大切なこと』とは？



3学期が始まって1週目が終わります。各教科では、すでに冬休み明けテストが行われたり、またはこれから行われたりするところもあります。冬休み明けテストも大切な評価材料になってくるので、真剣に取り組んでいきましょう。ところで、皆さんは、毎日の生活の中で「大切にしていること」はありますか？ アメリカの教育学者のドロシー・ロー・ノルトさんという人が、『一番大切なこと』というタイトルで詩を書いています。ドロシーさんは、この『一番大切なこと』の詩の中で、生活していくうえで大切なことを16個書いています。ぜひ、読んでみて、自分が大切にしていることと同じものがあるか考えてみましょう。

『一番大切なこと』

ドロシー・ロー・ノルト

- 1 あかね、ものには順番があるの、自分の番がくるまで待とう
- 2 それから、自分の役目はちゃんと果たそう
- 3 それから、人の役に立ってあげよう
- 4 それから、やると言ったことは必ずやろう
- 5 それから、ひとと一緒に過ごす時間を大切にしよう
- 6 それから、ルールは守ろう
- 7 それから、自分にできることだけを約束しよう
- 8 それから、始めたことは最後までやりとげよう
- 9 それから、あったことはありのままに、本当のことを話そう
- 10 それから、とても大切に思っているよって家族に伝えよう
- 11 それから、間違いや失敗をしてもいいから その間違いや失敗からちゃんと学ぼう
- 12 それから、ひとの過ちはゆるしてあげよう
- 13 それから、正しいことをしよう
- 14 それから、自分の身体を大事にして体に良いことを実行しよう
- 15 それから、一番なりたい自分になるために一生懸命がんばろう
- 16 それから、ほら、大きく目を開けて 母なる自然の世界をしっかりと見つめよう

読んでみて、皆さん自身が考えている「大切なこと」は入っていましたか？ ちなみに、この詩は、「きっとだよ そして、とびきりすてきな自分になろうね」というフレーズが、16個の全ての文の後ろにつながっています。「とびきり」とは、最高という意味です。では、最高の自分になるためには、どのようにすれば良いのでしょうか？ それは、一人ひとり違ってきます。例えば、「自分の役目はちゃんと果たす」「ルールを守る」「人の悪口を言わない」など、どんなことを大切にしているかは人によって違いますよね。大事ななのは、自分が、最高に素敵な人になるために努力するかどうかです。つまり、「あなたが大切にしたいことを大事にすること」が『一番大切なこと』な

のではないのでしょうか？

以前にも伝えた通り、3学期は3年生になるための準備をする学期です。まだ始まったばかりの3学期ですが、自分が大切にしたいことを大事にして、あなた自身が最高に素敵な人になる努力をしてもらいたいと思います。

「忘れないぞう」キャンペーンやります！

学級委員主催の企画で、12月は「時間を守ろうキャンペーン」を行いました。今度は「忘れないぞうキャンペーン」を実施しようということで企画しています。1年生の時も実施しましたが、先月の学級委員で「日常の提出物の提出状況があまり良くない」という声が上がリ、改めて実施してみようということで考えました。3学期の「忘れないぞう」を配布したばかりなので、まだ誰も失くしていないと思います。「忘れないぞう」がある本来の目的は、「スケジュール管理」にあります。特に提出物や忘れ物が課題にある生徒は、「忘れないぞう」にメモを取るところから始めた方が良いでしょう。人はどうしても物事を忘れてしまいがちですが、記録を取ることで忘れてしまうのを防ぐことができます。せっかく、教材費で買っている教材の1つですから、面倒くさがらずにスケジュール管理をする習慣を付けましょう！

■来週の予定（1/13（月）～1/17（金））

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
1/13 （月）		成 人 の 日						
1/14 （火）	A	英語	体育	社会	理科2	国語2	総合	ヤギカフェ
	B	体育	国語1	理科2	理科1	数学		
	C	社会	理科2	体育	国語2	数学		
1/15 （水）	A	理科1	英語	社会	国語1	道徳	各種委員会	各種委員会 社会：冬休み明けテスト
	B	英語	理科1	国語2	社会			
	C	英語	社会	理科1	理科2			
1/16 （木）	A	美術	英語	体育	家庭	音楽	社会	
	B	英語	家庭	国語2	体育	数学	音楽	
	C	英語	美術	家庭	体育	数学	国語2	
1/17 （金）	A	技術	英語	数学	国語2	理科2	学活	避難訓練 英語検定
	B	英語	技術	国語2	理科2	社会		
	C	英語	理科1	技術	国語1	音楽		

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。_____は授業変更の箇所です。



都内巡り 作文特集!



遅くなってしまいましたが、11月末に行われた校外学習「都内巡り」の作文を紹介します。都内巡りの班発表に向けたスライド作成を冬休みの宿題として出しました。来週から、分担したスライドを班ごとに1つにまとめて、発表に向けた準備を行っていきます。

以前にも伝えた通り、校外学習は行って終わり、ではありません。「事前学習」→「実地学習」→「事後学習」の3つの学習が鎖のように結びつくことで、校外学習は意味を成すのです。それは、3年生の修学旅行でも同様です。改めて、「事後学習」でも、当日の学びの成果を存分に活かして、しっかりと取り組んでいきましょう。

まだ、自分の分担したスライドが完成していない人は、この土日を使って必ず作成してください(そうでないと、他の班員に迷惑がかかってしまいます)。

「大きな東京」

A組 O S

東京は日本の中で三番目に小さな都道府県です。そんな小さな東京の二十三区内で僕たちは都内巡りをしました。

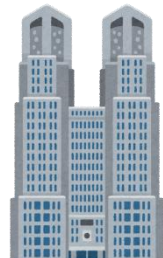
最初にオリンピックミュージアムへ行きました。歴代の聖火トーチを見たり、実際にメダルをかけてみたり、色々なことを体験しました。中でもオリンピック選手の記録に挑戦できるところでみんながオリンピックに近い記録を出していて驚きました。

次に国立科学博物館へ行きました。博物館は大きかったですが、時間がなく、あまり回れませんでした。ですが、そんな少ない時間でも知らないことを知ることができました。今度行くことがあればしっかり回りたいです。

昼食は浅草で食べました。つけ麺です。千円は高いけどおいしかったです。その後、浅草の雷門、仲見世通りへ行きました。テレビで見るより雷門は大きく、迫力がありました。仲見世通りは外国人観光客が多く、周りから聞こえる声は知らない外国語がほとんどでした。

買い物が終わると時間は残っておらず、行く予定だった平和記念資料館には行けませんでした。最初は平和記念資料館に行っても時間が余ると思っていましたが、実際には行けませんでした。

僕はこの都内巡りを通して、写真や文字で見るより、実際に行ってみると分かることもあると思いました。小さな東京はものすごく大きかったです。



「校外学習」

B組 S N

11月29日、僕は校外学習に行ってきた。まず国立博物館に行った。そこにはいろいろな動物や昔のもの、化石などたくさんあり、それらについて学べた。次に雷門に行ったがあまり見られず、すぐにご飯を食べに行った。ご飯はとてもおいしく楽しかった。次に江戸資料館に行き、江戸について学べた。そのあと明治神宮に行きカマキリを見つけた。とても格好良かった。明治神宮ではおみくじを引いた。その後、たい焼きを食べて帰った。本当にあっという間だったが、たくさんの思い出がある。電車はとても人が多くぎゅうぎゅうだったが、それは僕にとって初めての体験で暑苦しいものだった。でも、とても楽しかった。社会の大変さを知ることができた。また、いろいろな場所へ行く途中、みんなで楽しく話をしたのも思い出の一つだ。このようにすごく楽しい校外学習ができたのも、すごく前から準備をしてくれた先生方のおかげだし、一人一人が班のために頑張ってきてきたからだと思う。今回僕は実行委員をやってみて楽しかったし、すこしでもみんなの役に立てたのかな、と思うととてもうれしいし気分が良かった。いままであまりこういうことには挑戦してこなかったが、意外とやってみると楽しいものだった。これからもっと挑戦し、いろいろな経験を重ねていきたい。今回学んだことは修学旅行やこれからの人生に生かしていこうと思う。

「都内巡り」

C組 I O

私は今回の校外学習で、見えない優しさや配慮をたくさん目にしました。

東京の都心を巡り、さまざまな人を目にしました。普段行かない所や初めていくお店、場所に大人は付いてきてくれない。そんな中、私たちは昼食を食べるために柳沢から一時間ほど離れている月島に行きました。全員お腹も空き、急ぎ足で向かってみたら、目当てのお店は営業時間の30分前となっていました。班長としての責任を感じ、一人で違うお店を探そうとしていました。そんな時、班の人は文句を言うこともなく一緒にお店を探してくれました。班の人へ感謝もしましたが、これが家族や親だったら、私は空腹で嫌な態度をとっていただろうと思います。親は私がどんな嫌な態度をとっても普段通りに接してしてくれたことを思い出して、親の優しさと自分のよくなかったところを痛感しました。

また、時間が押してしまい、一部の場所を削ることになった時も、班の人は文句一つ言わず笑顔で賛成してくれました。笑顔で話してくれた時の安心感がすごかったのをとても覚えています。

私は、今回の都内巡りで周りの人の優しさを感じ、自分の優しさを振り返る機会となりました。